

揖保川流域委員会設立準備会議

揖保川流域委員会に関する一般からの意見

平成 13 年 10 月 15 日

委員候補者（自薦）

氏名 なかのうかずや
中農一也 氏 （47才）

職業等 学校法人 誠和学院 姫路建設専門学校校長（姫路市）
都市環境デザイナー
まちづくりコーディネーター
「川の日」ワークショップ実行委員会委員
全国水郷水都会議会員

メッセージ 子どもの頃泳いだり遊んだのは市川なので、揖保川については詳しくありません。その上、22年ぶりに故郷に帰ってきましたので、現在は浦島太郎の状態です。しかし、これまでのまちづくりや川づくりの経験から何かお役に立てればと思いメールを送りました。

私は、1998年からスタートした「川の日」ワークショップ実行委員会の委員として初年度から参加していますが、これまで兵庫県内の川づくりの応募が少なく少し寂しい思いをしています。去年は、尼崎市の庄下川の一件だけでした。

ぜひ、揖保川水系で元気な川づくりをし、「川の日」ワークショップでグランプリ大賞を勝ち取って頂きたいと期待しています。

姫路工事事務所のe-mailアドレスをいただければ、私のプロフィールを送付しますので、何かお役に立てることがあればご連絡下さい。

川整備の目的

今、身近な生物が激減している。鴨が餌不足、体力不足で渡りが出来ないというとんでもない状況とも聞く。小泉首相も国会で野生生物の大切さを表明した。川は人間だけのものでなく、全生物のためのものでもある。生物のお陰で人間は生かされているのであり、今まで生物配慮をあまり考えなかった事を反省しなければならない。生物配慮が結局人間にも最良の結果をもたらすのです。

心構え

まず人間は、謙虚になり揖保川が存在する事自体どんなに素晴らしく、大切なことか、再認識し感謝することからスタートしたい。簡単に川をコンクリートで傷つける事など出来ないはずです。

学識経験者

生物学者、生物保護関係者に多数参加していただきたい。

龍野の揖保川の現状は、運動場、駐車場、散策場 川原への自転車乗り入れ等により土が固められ、コンクリート化され自然の川原は少ない。人間の利便性のために、これ以上埋め立て、整備し、施設を作ってはいけない。

本来の川を取り戻し、豊かな自然の恵みが永久にもたらされるように。

- ・水量が低下している。流域での保水力のある植樹、森林保護から考える。水量が増えると流れの多様性（速い流れ、よどみ、たまり水）ができる。
- ・さしつかえなければコンクリートをはがし、水草・野草・樹木を多くする。
- ・治水工事はコンクリートで固める以外の方法を徹底的に考えて欲しい。

（多自然工法や遊水池の考えも復活した）

「揖保川整備計画」策定に係わる意見書

大成建設（株）姫路営業所 吉元 士郎

同エコロジー本部 並木 裕

地域経営収支を高めつつ循環型経済システムを構築する視点から、森林計画、都市計画との機能連携をとった「揖保川整備計画」の策定が必須であると考えます（図-1、2参照）

- ◇水循環に係る自然循環系と調和した流域単位の人工循環系の整備
 - ◇炭素循環に係る自然循環系と調和した流域単位の人工循環系の整備
 - ◇エコトープの形成：生物生息ポテンシャルを高める施策
 - ◇マインドスケープの形成：流域コミュニティの醸成施策
- 表-1に上記の視点から流域単位で検討をして頂きたい項目とその内容を示します。

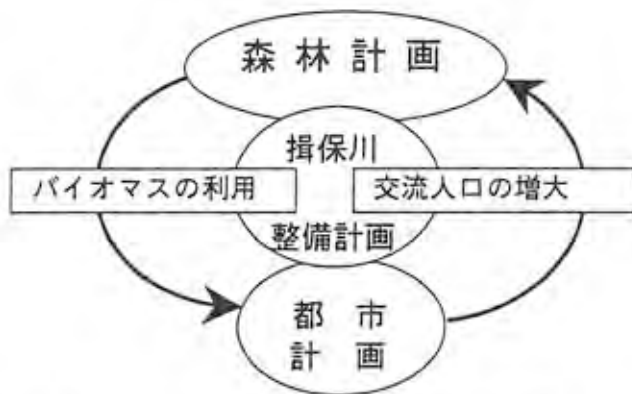


図-2 ライフスマイルがライフスタイルの揖保川整備計画



図-1 「水樹」を育てる揖保川整備計画

表-1 地域経営収支向上のための検討項目

項目	内容	備考
治水・利水 (水循環)	冠水を一部許容する土地利用（市民農園等） 雨水浸透装置の多目的活用（晴天時の地下水の涵養等） 用水路の多目的通年利用（熱源水利用等） 雨水調整槽整備（下水道で不要になる浄化槽の利用等）	許容降雨強度の拡大 稼働率の向上 河川水の多目的利用 流入時間の延長
水質保全 (水循環)	上流域の貧栄養型土地利用の促進（養豚場の集約等） 開放型の下水高度処理（放棄水田の利用等） 溶存酸素の補給（ソーラー曝気等）	流入負荷量の削減 自然のメカニズムによる高度処理
生物多様性の向上 (エコトープ)	ワンドの整備(学校敷地内利用等) 環境維持流量の確保（小規模下水処理等） 多自然型護岸 ウエットランドの整備	水たまりの確保 ポアラスな護岸
経済 (炭素循環)	木橋の拡大（流れ橋（名畑橋）等） 木製治水装置の利用拡大（制牛等）	防腐防蟻処理をしない木材利用 （木質発電によるリサイクル等）
地域活動 (マインドスケープ)	野鳥の誘引（ツバメが営巣するまちづくり等） コミュニティビジネスの推進	建物と河川とのコラボレーション 環境産業の育成
歴史・文化 (マインドスケープ)	水運の復元（木材の筏による運搬等） 赤トンボのための生息環境の整備	ダム計画放流による流量の確保 中流域

意見募集の方法

新聞広告で意見を募集（平成 13 年 6 月 5 日）：下記参照

新聞折り込みチラシで意見を募集（平成 13 年 9 月 30 日）：次頁参照
 （流域の約 80,000 世帯に配布）

6 月 5 日、神戸新聞掲載の新聞広告

揖保川水系河川整備計画策定の進め方

姫路工事事務所では、揖保川水系河川整備計画を以下のような流れで策定します。この中で、学識経験者から意見を聴く場として揖保川水系流域委員会を設置します。委員会を設置するにあたって皆様のご意見をお寄せ下さい。

```

            graph TD
            A["揖保川水系河川整備計画(原案)  
【国が管理する区間】  
(今後20年から30年の具体的・段階的計画)"] --> B["揖保川水系河川整備計画(案)  
【国が管理する区間】の作成"]
            C["揖保川水系流域委員会  
(学識経験者)"] --> B
            D["関係住民からの意見聴取"] --> B
            E["地方公共団体の長の意見"] --> B
            B --> F["揖保川水系河川整備計画  
【国が管理する区間】の策定・公表"]
            
```

「揖保川水系河川整備計画」とは…
 揖保川の今後20年間から30年間に行う川づくりの具体的・段階的な計画です。

「揖保川水系流域委員会」とは…
 河川管理者(国)が、揖保川の河川整備計画の原案について、学識経験者から意見を聴く場として設置するものです。

「学識経験者」とは…
 河川に関し学識を有する方で、治水・利水・環境・人文(歴史・文化・広報)・経済・地域活動等(町づくり・川に関するNPO・NGOや住民活動など)の分野において、揖保川流域の特性に詳しい方、揖保川をフィールドに活動されている方々と考えています。

ご意見をお寄せ下さい

ご意見はFAX・ホームページで受け付けています
FAX.0792-82-8663
<http://www.kkr.mlit.go.jp/himeji/>
締め切り:平成13年6月15日(金)

担当課:調査第二課

揖保川水系 河川整備計画

お寄せください。

皆さんのご意見を
「揖保川水系流域委員会」を設置します。

これからの川づくり計画を作るため

治水
利水
環境

1997 河川法改正のポイント

- 治水・利水・環境の総合的な河川制度の整備
- 河川環境の整備と保全
- 地域の意見を反映した河川整備の計画制度の導入

国土交通省 近畿地方整備局 姫路工事事務所 〒670-0947 姫路市北条1-250
 TEL0792-82-8211

新しい川づくり、始めます。

「揖保川流域委員会設立準備会議」開催のお知らせ

このたび、これからの揖保川の川づくりのあり方をしめす「揖保川河川整備計画」を策定することになりました。この策定にあたり、学識経験者等の方々から意見を聴く場として「揖保川流域委員会」を設立して進めます。

近畿地方整備局姫路工事事務所では、これに先立ち、流域委員会のあり方等を検討する設立準備会議を来る10月15日(月)に開催します。

準備会議は公開で行いますので、傍聴希望者は氏名・所属(会社名など)・連絡先をご記入の上、FAX・ホームページでお申し込み下さい。(申し込みは先着順とし、収容人数を超える希望者があった場合は、状況を見て対応します。)

◆◆◆揖保川河川整備計画策定の進め方◆◆◆

揖保川河川整備計画を以下のような流れで策定します。この中で、学識経験者等から意見を聴く場として揖保川流域委員会を設置します。



「揖保川河川整備計画」とは・・・

揖保川の今後20年間から30年間に亘る川づくりの具体的・段階的な計画です。

「揖保川流域委員会」とは・・・

河川管理者(国)が、揖保川の河川整備計画の原案について、学識経験者等から意見を聴く場として設置するものです。

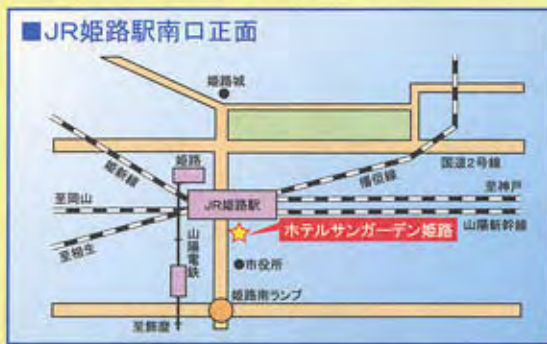
「学識経験者等」とは・・・

河川に関し学識を有する方で、治水、利水、環境、人文(歴史・文化・広報)、経済等の分野で揖保川流域の特性に詳しく、揖保川をフィールドに活動されている方々の中から選定しました。

「揖保川流域委員会設立準備会議」

1. 日時：平成13年10月15日(月) 14:00～

2. 場所：ホテルサンガーデン姫路 3F「光琳の間」



3. 審議内容：①流域委員会の委員構成について
②流域委員会の運営のあり方について
③流域委員会の情報公開について

4. 揖保川流域委員会設立準備会議構成メンバー (五十音順)

氏名	分野	所属
浅見 佳世	植物生態	姫路工業大学客員助教授
家永 喜文	環境全般	前姫路科学館館長
井下田 猛	環境政策	姫路獨逸大学法学部教授
神田 徹	河川工学	神戸大学工学部教授
田中丸治哉	農業水利	神戸大学大学院自然科学研究科助教授
田原 直樹	都市計画	姫路工業大学教授
橋本 武良	水生動物 多自然型河川工事	姫路市立水族館館長兼 鳥取県立穴道湖自然館館長
中元 孝迪	マスコミ	神戸新聞社常任監査役
藤田 正憲	水質管理工学 環境生物工学	大阪大学大学院工学研究科教授 大阪大学保全科学研究センター長
正田 富夫	地場産業	うすくら農野園油資料館館長
増田 善義	歴史・文化財	網干史談会会長
丸山 信行	上水道	姫路市水道局浄水課長兼 水質検査室長
道奥 康治	環境水理学	神戸大学工学部教授
森本 一二	歴史・文化財	元中学校校長
和崎 宏	地域情報化	はりまインターネット研究会

上記メンバーは、「揖保川流域委員会」の委員候補とします。

ご意見
募集中!

下記の内容について皆様からのご意見を募集します

- ① 「揖保川流域委員会」の委員構成について
- ② 委員会のあり方について
- ③ 揖保川の川づくりについて

ご意見・傍聴の申し込みをFAX・ホームページで受け付けています。
FAX 0792-82-8663 <http://www.kkr.mlit.go.jp/himeji/>
締め切り：平成13年10月5日(金)